

女性の強みをいかして、世の中へ還元できる会社を目指したい

くりす ゆりか 栗須 百合香さん

三重工熱株式会社 代表取締役社長

1963年 誕生
2000年 パートとして入社
2011年 代表取締役社長に就任



🌸 これまでの道のりは？ 🌸

前社長（父）の退任に伴い、2011年8月8日に代表取締役社長に就任し、本日（取材当日：2016年8月9日）からちょうど6年目に入りました。それまでは、いちパート従業員として働いていましたが、前社長から「百合香がいけ！」と指名され、信頼できる部下の協力を得ながら現在に至っています。

🌸 自分らしい働き方は？ 🌸

得意先との信頼関係が何より大切と考え、対外的な交流は会長や監査役などに任せ、日頃からチャンスを見逃さないよう努めていこうと思っています。

会長（前社長）からは、「いつも笑っていなさい」と言われています。笑い声が人を呼ぶ、仕事を呼ぶということです。たやすいことのように重みのあることだと感じています。

🌸 これからの目標や夢を教えてください。 🌸

ものづくりの会社なので、自社「三重工熱ブランド」製品を立ち上げたい。
また、女性だけのプロジェクトを立ち上げ、女性の

視点を持った製品、いわゆる「なでしこブランド」も手がけたい。女性の能力を発揮させたいと考えています。

また、社長就任の話など全くなかった2011年の1月、国や県が女性活躍をアピールする前に立てた私の今後10年の予定には、女性従業員の増員、女性管理職、特に部長職の登用を掲げていました。社長に就任し、3年目に組織編成を行い、女性2名の部長を誕生させました。これからも仕事については、私の方針に一切口を出さない会長の信頼を裏切らないように、多くのことを学び、何か世の中へ還元できる会社を目指していきたいと思います。

🌸 やりがい、反対に苦勞はありますか？ 🌸

就任してからまず感じたことは、知らないうちの商売人の娘（子）としての気質が備わっていたんだ、父の背中を見て育っていたんだなあということでした。最初は分からないことばかりで、得意先へ何度も押しかけ、しつこく尋ねて回りました。もちろん勉強もしました。こういった行動は、女性のしぶとさや強みですね。何度も尋ねるところは、男性が少し苦手とするところではないでしょうか。得意先へは面倒をおかけしたと思いますが、こういっ

たことも信頼関係をつくるための第一歩だと思っています。就任前の2008年のリーマンショックからは大変な状況でしたが、あきらめず頑張っておりましたら、回復の兆しと共に、得意先から早々にお声をかけていただいたことは今でも大変感謝しています。

🌸 最後に伝えたいことをどうぞ… 🌸

新規採用の従業員に向けて、「私と会った限りは、ちゃんとした社会人にします。」と言っています。特に製造業は同じ物を繰り返し作る仕事ですから、途中で仕事が嫌になる人もいますが、他所へ行ってもやっていけるようになるまで責任を持って預かっています。人として基本的なことが備わっている良い人間に育てることが使命と考えています。

